**５　情報活用能力育成に向けた年間目標**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **概要** | **学習内容** | **低学年** | **中学年** | **高学年** |
| **Ａ 活動スキル** | **コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能** | A1:記録と編集  A2:PCの操作  A3:ウェブ検索  A4:図書利用  A5:インタビュー  A6:アンケート  A7:メモ  A8:口頭発表 | **情報を集めたり、発信したりすることに関わる基本的な活動をマナーを守って行うことができる。**  A1:写真や動画の撮影、⾳声の記録ができる  A2:eライブラリ（学習コンテンツ）を活用できる  A4:図書館内にある本を⾒付けることができる  A5:質問を⽤意することができる  A7:⼤事だと思ったところを短い⾔葉で書くことができる  A8:物を⾒せながら⼤きな声で分かりやすく話す | **情報を集めたり、発信したりする際、コンピュータを含む情報手段を目的に応じて活用することができる。**  A2:ローマ字で⽂字⼊⼒ができる  A3:キーワードで検索できる  A4:⽬次や索引を活⽤して情報を⾒つけられる  A6:何を聞くか質問を考えられる  A7:箇条書き・単語でポイントをまとめる  A8:資料を効果的に⽰しながら⾝振りや声の抑揚など伝え⽅を⼯夫する | **情報を集めたり、発信したりする際、情報手段の特性を意識して活用することができる。**  A1:写真や映像、⾳声の加⼯・編集ができる  A2:ファイル・フォルダの管理ができる  A3:サイトの構造を理解して情報を⾒付けられる  A5:下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶことができる  A6:⽬的にあった質問の形式や内容を考えられる |
| **Ｂ 探求スキル** | **収集した情報を精査し、整理・分析し、まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力** | B1:取捨選択  B2:読み取り  B3:創造  B4:伝達内容の構成  B5:表現の工夫  B6:受け手の意識  B7:学習計画  B8:評価と改善 | **情報を編集（整理・分析や表現）する際、与えられた視点や観点のもとで工夫して取り組むことができる。**  B1:課題解決に役⽴つ情報を選ぶことができる  B2:一つの資料から視点を持って情報を読み取る  B4:話の順番を組み⽴てることができる  B6:相⼿を意識して伝え⽅を⼯夫する  B7:決められた計画に⾒通しを持つことができる  B8:学びを振り返ることができる | **情報を編集（整理・分析や表現）する際、学びの見通しを持って視点や観点を理解し、試行錯誤することができる。**  B1:選んだ根拠を説明することができる  B3:情報から分かったことをまとめられる  B5:メディアに応じた⼯夫ができる  B7:⾃分で計画を⽴てることができる  B8:振り返りをもとに次にやってみたいことを考えられる | **情報の収集・編集（整理・分析や表 現）・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。**  B2:複数情報から共通・相違点を⾒つけられる  B3:情報を組み合わせて新たな意味を⾒いだす  B4:相⼿を説得するために論理を組み⽴てられる  B5:伝えたいことに応じて表現を⼯夫できる  B6:相⼿の反応を⾒て伝え⽅や内容を⼯夫する |
| **Ｃ プログラミング** | **問題解決の手順を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力** | C1:物事の分解  C2:情報の分類  C3:情報の関連付け  C4:問題解決の手順  C5:試行錯誤  C6:データの傾向  C7:情報技術の将来 | **問題の解決には手順があることを理解する。**  C1:物事を部品に分けて捉えることができる  C2:情報を決められた観点に分類・整理できる  C3:情報と情報の間にある関係に気付く  C5:うまくいかない時に繰り返し取り組もうとする | **問題解決や表現活動の際、コンピュータに与える論理的な手続きやデータを さまざまに工夫できることを体験的に理解する。**  C1:部品を組み合わせて物事を表現できる  C4:問題解決の流れを⼿順に表すことができる  C5:試作やシミュレーションを通して問題解決の⽅向性や改善策を⾒い だす  C6:⼤まかなデータの傾向を⾒出すことができる  C7:新しい情報技術がどんなものか知る | **コンピュータを使った問題解決や表現 活動を通して、情報技術の価値を社会や自らの将来に関連付けて考えることができる。**  C2:観点を考えて情報を分類できる  C3:情報と情報の関係を図やプログラムで表現できる  C4:問題解決の⼿続きを順序・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現できる  C6:データの変化を捉えて説明できる  C7:新しい情報技術にどう関わるか説明できる |
| **Ｄ 情報モラル** | **情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度** | D1:コミュニケーション  D2:法と権利  D3:健康と安全  D4:ルール、マナー  D5:セキュリティ  D6:個人情報  D7:情報社会の将来 | **自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。**  D1:相⼿によって受け⽌め⽅が違うことを理解する  D2:⼈の作った作品や情報を⼤切にする  D3:情報機器を使ってよい場所や時間を守る  D4:ルールやマナーが必要であることを理解する  D5:パスワードを安全に管理する  D6:⾃他の情報をむやみに他⼈にもらさない | **情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて使用しようとする。**  D1:発信する情報に責任を持つ  D2:著作権や肖像権に留意して情報を扱う  D3:情報機器を使う場所や時間を⾃分で管理できる  D4:ルールやマナーを相⼿と⼀緒に作る  D5:なりすましやウィルスなどの危険を理解する  D6:⾃他の情報が伝わる範囲を考えて⾏動する  D7:情報社会の特⾊を理解する | **情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。**  D7:情報社会の中でどう⽣きていくか説明できる |